

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アテクト

コード番号 4241 URL <http://www.atect.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小高 得央

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 副本部長

(氏名) 渡辺 弘之

TEL 072-967-7000

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,293	2.0	140	25.1	143	77.3	120	22.8
25年3月期第2四半期	1,268	△1.1	112	—	81	—	97	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 150百万円 (86.6%) 25年3月期第2四半期 80百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	30.04	30.02
25年3月期第2四半期	24.47	—

当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第2四半期	3,714		1,161		31.0	
25年3月期	3,701		1,045		27.9	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,150百万円 25年3月期 1,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の株式分割を行っております。平成25年3月期については当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,650	6.0	220	3.2	190	△16.9	150	△28.0	37.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	4,207,200 株	25年3月期	4,207,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	206,947 株	25年3月期	206,610 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	4,000,346 株	25年3月期2Q	4,000,590 株

(注)当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成25年11月26日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、経済政策への期待やそれに伴う円安、株高傾向を背景に消費回復の兆しが見られました。一方海外市場は安定して推移しております。

当社グループは、2年前より着手した構造変革活動により、前期同様、好調な利益水準を維持しています。半導体資材事業においては、前期に確立した韓国・台湾の2大生産拠点への集約と円安効果が奏功し、大幅な増益となりました。衛生検査器材事業においては、直接販売体制によるマーケティング活動の強化、生産変革活動による原価低減活動の更なる推進により、高騰する主原料のコストアップを吸収、利益損失を最少に止める事が可能となりました。PIM（パウダー・インジェクション・モールドィング）事業においては、PIM用バインダー（射出成形用助剤）販売の伸長に加え、当社バインダーの特性を活かしたPIM製品（薄肉精密部品）の新規顧客を獲得し、前第3四半期連結会計期間からの黒字転換以降、堅調に推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,293百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益140百万円（前年同期比25.1%増）、経常利益143百万円（前年同期比77.3%増）、四半期純利益120百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

① 半導体資材事業

半導体資材事業につきましては、中国において省エネ製品に対する補助金が本年5月末まで実施されたことにより、当第2四半期連結累計期間の受注は好調に推移しましたが、今後、一部で在庫調整や販売単価の見直しに伴う、売上の低迷が懸念されます。その対応として、もう一段のコスト構造の見直しを早急に実施して参ります。

これまで推進して参りました生産変革活動の1つとして、韓国生産拠点のライン能力を1.7倍までアップさせることに成功致しました。これまで台湾大口顧客の要請で現地賃借工場にて生産していた製品を韓国拠点生産品での供給の了承が得られたことで全てのスペーサーテープの製造を自社工場である韓国に集約致します。これにより、従来の月産350万mの生産体制から台湾設備の移管も併せ、最大月産能力1,000万m体制を確立、2大拠点で生じていた固定費の重複ロスを排除し、更なる原価低減を実現し、より強固な収益基盤を構築して参ります。

販売面については、スマートフォン及びタブレット向け中小型タッチパネルに、当社製品であるスペーサーテープを使用するチップオンフィルムのLSI実装技術が徐々に採用され、従来のテレビ製造分野とパソコン向けモニター分野からタブレット端末等の民生分野と産業用タッチパネル分野に事業基盤が広がりつつあり、需要家の動向を見極めながら、売上高の増加に努めます。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の半導体資材事業の売上高は489百万円（前年同期比13.0%増）となり、営業利益は59百万円（前年同期比112.1%増）となりました。

② 衛生検査器材事業

衛生検査器材事業につきましては、新規顧客開拓と最近の受注が途絶えていた顧客からの受注復活を営業伸長の基本としてテレマーケティングを推進した結果、当第2四半期連結累計期間で459件の新規顧客及び復活受注を獲得いたしました。

原価面においては、依然、高騰が続く主原料の影響を受けたものの、前期から進めてきた生産の自動化・IT化による合理化で利益の減少を最小に抑えることが可能となりました。今後の対応として、1年前より設計・開発を進めてきたシャーレ製造において画期的なプロセスを有する新生産ラインが第4四半期連結会計期間以降本格稼働致します。これにより、原料高騰分を吸収し、強固な収益基盤を構築して参ります。また、従来の製造・販売業務に加え、衛生検査の受託検査業務についても展開を加速させ、サービスの提供を主要な収益源として育成して参ります。

以上の結果、衛生検査器材事業の売上高は777百万円（前年同期比3.5%増）となり、営業利益は69百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

③ PIM (パウダー・インジェクション・モールドィング) 事業

PIM事業につきましては、当社の独自製品であるバインダー、フィードストック (金属やセラミックの粉末とバインダーを混練した後、射出成形機に投入するためにペレット化したもの) 製品についてアジア市場の開拓が進みました。また、量産用新規焼結炉を導入し、自社バインダーの特性を活かしたMIM (メタル・インジェクション・モールドィング) 製品、SUS製、精密機構部品の新規受注を獲得致しました。

CIM (セラミック・インジェクション・モールドィング) 製品については、電子化が進む自動車分野及びクラウド・ストレージ等IT分野にターゲットを絞り、当社セラミック製ヒートシンクの大きな特徴である、絶縁、熱伝導、熱放射の各特性が、更に高いレベルでバランスした製品の開発を目指して取り組んでおります。その結果、これまでにない最高レベルの熱抵抗値を有するヒートシンクの開発に成功し、国内・米国の自動車業界のユーザーに提案、高い評価を得ています。ここ数年をメドに自動車産業の部品製造事業を当社グループ、成長路線の重要な戦略商品と位置付け商品開発を加速させて参ります。また、同時に1年以内にTS16949 (自動車産業向けマネジメントシステム) の取得を目指し、社内プロジェクトを発足致しました。

以上の結果、PIM事業の売上高は38百万円 (前年同期比142.0%増) となり、営業利益は11百万円 (前年同期は1百万円の営業損失) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ0.4%増の3,714百万円となりました。

これは、「建設仮勘定」が84百万円増加する一方、「現金及び預金」が83百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ3.9%減の2,552百万円となりました。

これは、「長期借入金」が56百万円増加する一方、「短期借入金」が93百万円、「社債」が40百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ11.1%増の1,161百万円となりました。

これは、「利益剰余金」が86百万円、「為替換算調整勘定」が29百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日発表の業績予想に変更はありません。

(注) 業績予想は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,174,458	1,090,646
受取手形及び売掛金	470,292	462,691
商品及び製品	94,506	74,725
仕掛品	21,856	26,806
原材料及び貯蔵品	70,781	79,714
繰延税金資産	34,302	39,537
その他	27,521	42,043
貸倒引当金	△1,451	△1,408
流動資産合計	1,892,269	1,814,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	571,062	590,133
機械装置及び運搬具（純額）	345,328	310,022
土地	509,974	509,974
建設仮勘定	42,294	126,702
その他	19,211	26,140
有形固定資産合計	1,487,872	1,562,974
無形固定資産		
その他	39,078	76,146
無形固定資産合計	39,078	76,146
投資その他の資産		
投資有価証券	2,330	2,736
繰延税金資産	236,680	228,289
その他	43,152	30,274
貸倒引当金	△267	△321
投資その他の資産合計	281,895	260,978
固定資産合計	1,808,846	1,900,098
資産合計	3,701,115	3,714,854

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,707	299,474
短期借入金	384,400	290,700
1年内返済予定の長期借入金	433,069	428,893
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
リース債務	134,027	97,723
未払金	57,687	100,432
未払法人税等	19,541	11,987
賞与引当金	37,389	39,889
設備関係支払手形	19,232	10,996
その他	56,604	42,070
流動負債合計	1,507,661	1,402,167
固定負債		
社債	150,000	110,000
長期借入金	926,727	983,685
リース債務	63,746	49,733
繰延税金負債	167	164
その他	7,130	7,162
固定負債合計	1,147,771	1,150,745
負債合計	2,655,432	2,552,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,645	729,645
資本剰余金	649,645	649,645
利益剰余金	△194,742	△107,911
自己株式	△99,429	△99,543
株主資本合計	1,085,118	1,171,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	646	907
為替換算調整勘定	△52,172	△22,243
その他の包括利益累計額合計	△51,526	△21,335
新株予約権	12,090	11,442
純資産合計	1,045,683	1,161,941
負債純資産合計	3,701,115	3,714,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
売上高	1,268,568	1,293,400
売上原価	702,292	691,579
売上総利益	566,276	601,821
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	110,990	98,270
賞与引当金繰入額	26,915	29,568
貸倒引当金繰入額	—	9
その他	316,106	333,508
販売費及び一般管理費合計	454,012	461,356
営業利益	112,263	140,464
営業外収益		
受取利息	1,388	1,367
為替差益	—	27,040
受取賃貸料	2,904	2,874
助成金収入	2,493	3,912
その他	3,025	2,556
営業外収益合計	9,811	37,750
営業外費用		
支払利息	17,139	15,507
社債利息	2,465	1,138
減価償却費	5,688	8,018
為替差損	9,734	—
産業廃棄物処理費	—	5,200
その他	5,992	4,663
営業外費用合計	41,021	34,527
経常利益	81,053	143,687
特別利益		
新株予約権戻入益	11,259	3,068
固定資産売却益	1,366	1,139
関係会社株式売却益	9,090	—
特別利益合計	21,716	4,207
特別損失		
固定資産売却損	6,166	4,145
固定資産除却損	2,622	2,705
特別損失合計	8,788	6,850
税金等調整前四半期純利益	93,981	141,045
法人税、住民税及び事業税	9,077	17,837
法人税等調整額	△12,980	3,039
法人税等合計	△3,902	20,876
少数株主損益調整前四半期純利益	97,884	120,168
四半期純利益	97,884	120,168

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	97,884	120,168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	261
為替換算調整勘定	△17,306	29,928
その他の包括利益合計	△17,293	30,190
四半期包括利益	80,591	150,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,591	150,359
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。